

令和6年度 ユース栃木冬山報告

1 期日：令和6年12月20日

2 場所：日光白根山東稜

3 日程コース

12月20日 菅沼駐車場（7：30）～弥陀が池（9：10）～東稜取付（10：45）～白根山頂（13：15）～弥陀が池（14：00）～駐車場（15：15）

4 参加者（2名）林 祐寿 荒井 理

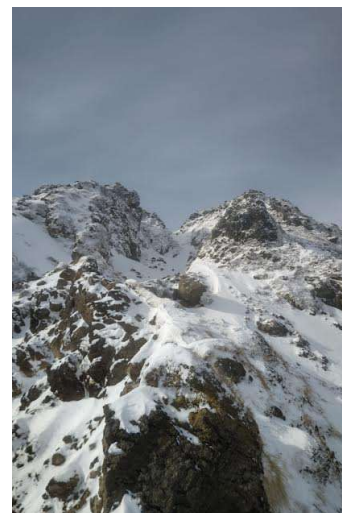
5 行動概要

金精道路が閉鎖される前に行かねばと、今回予定したのは日光白根山東稜、登り慣れた白根ではあるが、いつもと違うバリエーションルートである。今年は11月末まで暖かい日が続いたが、12月に入ると平年並みに冷え込んできた。奥日光では積雪も増えたのではと思ったが、ここ数日はそれほど降雪がなかったらしく、登山道はしっかりとトレースがあり弥陀が池までは歩きやすい。そこから五色沼へルートをとると途端に新しいトレースは無くなり、ラッセルとなる。五色沼で小休止をとりつつ、ここでハーネス類の登攀具を装着する。避難小屋へ向けて少し進むと右手にせり出してくる尾根が東稜になる。尾根に取りつくと、ひたすらラッセルがはじまる。2249mピークを過ぎてからの急登はダブルアックスを使いながらのラッセルで、樹林帯を抜けてようやく一息ついた。岩稜帯に出るとやはり風が強くなり、岩陰で小休止、最後の登りに備える。風はあるが天気は良く、東稜の荒々しい尾根と五色沼の景色が素晴らしい。ラッセルは無くなったが、岩稜帯の急登はアイゼンが刺さりきらず、バランスをとりながらの歩行は結構疲れる。遠くからも見えていた二本のピナクル、短い区間ではあるがナイフリッジを通過し、核心部の大岩を登りきると山頂北側のピークへ辿り着いた。山頂での気温は約-10℃、予想より風もなく穏やかで、しばし景色を楽しむことができた。とはいえ、予定より時間も押していたので下山を急ぐことに。弥陀が池までの下りは傾斜がきつい為、疲れてきた体にこたえたが、そこから先は踏み固められた登山道は快適だった。

いつもとは違うルートからの白根山はやや緊張するところもあったが、天候にも恵まれ、充実した山行となった。【文責 荒井 理】



【山頂にて】



【東稜（左ピークは山頂）】



【山頂まであと少し】

